

食育月間・食育の日パネル展 ～とりもどそう!“食”する力!～

6月16日～19日の4日間、JR松本駅東西自由通路で、「6月は食育月間・毎月19日は食育の日」にちなみ、国・県・市の行政機関などが連携して、食育パネル展を、共同開催しました。

22年3月30日に閣議決定された「新たな食料・農業・農村基本計画」では、平成32年度の食料自給率を供給熱量ベースで50%まで引き上げることが目標となっていることなどの、農業政策のポイントを展示しました。



生活スタイルの変化に伴う、消費者の“嗜好”の変化が、食料自給率を低下させ、国民から“食”する力を失わせた一因とも言われています。

19日には“食育イベント”を開催

松本市のマスコットキャラクター“アルプちゃん”が会場を盛り上げてくれました。

自由通路に並んだ50枚を超えるパネル

今年のパネル展では、行政機関に、食育に関心のある団体等が加わり、食育の輪が広がりました。

地域の食材を使った
日本型食生活
を推進します!



長野農政事務所地域第一課